

一球通信 vol.131

*****コンテンツ*****

1. 広島商業高校・一橋大学野球部OB交流会(S51年卒 佐治様より)
2. 監督インタビュー(文責:1年栗)
3. OB便り(平成3年卒 菊池様より)
4. 春季オープン戦・リーグ戦日程紹介

1. 広商京浜支部 OB 懇親会報告(昭和 51 年卒佐治様より)

1月20日に広商京浜支部OB懇親会が開かれ、一橋からも多くのOBが参加致しました。以下、佐治様より当日の様子の報告となります。ご覧くださいませ。

広商OBとの交流（広商野球クラブ京浜支部懇親会に参加）

恒例の広商野球クラブ京浜支部懇親会（2018年1月20日（土）ホテルグランドヒル市ヶ谷）に招かれ、今井会長・鈴木監督はじめOB16名と、大崎新主将・栗主務の2名で総勢18名が参加し、広商OB諸氏と交流を深めた。

まず、広商野球クラブ京浜支部、田所支部長から、広商としては甲子園出場を目指すと同時に野球部員の進学面も重視していききたいこともあり、一橋野球部との文武にわたる交流を更に発展させていきたいとの挨拶があった。

続いて、今井一球会会長から、平素の広商側からの指導に対して、特に年末の広島遠征に関して、またシーズン中の金光さん、濱田さんからの懇切な指導、更に秋の入れ替え戦における広商OBの応援に謝意の表明があった。

また、一橋鈴木監督から、年末の広島での合宿に関してのお礼と春のシーズンに向け3部での戦いに全力を尽くしていきたい、との力強い発言があった。

その後、両校OBの方々のスピーチがあった。広商の若松監督からは、今年の一橋チームはエース兼4番が卒業して大変だと思われるかもしれないが、去年の広商もチーム結成時には力不足と感じていた。ところが、その後結束してどんどん強くなっていったのを見て、こういう方がチーム力は伸びるものだと実感した。今年の一橋は伸びしろが大きいと思うので頑張してほしい。また、今年の冬は、広商でも過去に経験のないくらい基礎体力を重視するきつい練習をしているが、これは1年間けがをしない丈夫で柔らかい体を作るためである、との発言があった。

そのあと一橋側からはS45 稲垣さん、S52 伴野さん、H2 赤城さん、H3 菊池さん、H5 犬飼さんからそれぞれスピーチがあった。稲垣さんからは広商との交流が始まったころの故畠山先生との思い出、伴野さんからは東都4部の3位になってしまった時の話、平成卒世代の赤城さん、菊池さん、犬飼さんからは当時の金光監督にお世話になった思い出と、これからもこの行事に参加していきたい旨の挨拶があった。最後に一橋の新主将・主務の紹介があり、お開きとなった。

広商出席者 29名（数字は広商卒業年、敬称略）

S33 佐々木明三、S36 横山麗吉、S38 伊勢本金四郎、S39 山下節治、S43 尾川節男、S47 古賀正、二宮至、濱田規久二、山下兼正、若松茂樹（広商野球部監督）、S48 原田薫、S49 大城登、金光興二、田所康弘（広商野球クラブ京浜支部長）、S50 浜中清次（広商野球クラブ会長）、S52 山岡英治、S56 山下哲司、川崎泰介、S57 西田弘、S61 大原央有、下城和男、S62 本廣巖生、H3 高柿健、H11 毛利光宏、瀬尾泰章、H20 江野脇圭、平井良和、H23 安本英正、H25 丸木義隆

一橋出席者 18名（数字は卒業年、敬称略）

S35 久木田義雄 S43 山口武夫 S44 鐘江健一郎 S45 稲垣博正
S46 町田英一 S48 今井鉄郎、竹内昇 S50 鈴木浩一
S51 飯島富士夫、佐治誠 S52 高橋雅和、伴野誠 S54 大和啓一
H2 赤城将之 H3 菊池優徳 H5 犬飼一雅
3年生 大崎光一朗 1年生 粟圭史郎

(左から) 発言する今井会長、鈴木監督、稲垣さん、
伴野さん、赤城・菊池・犬飼の各氏



(左から) 発言する広商若松監督、金光さん



2. 監督インタビュー(文責：1年栗)

新チームが始動し、約3か月となりました。まもなく始まる春季オープン戦・春季リーグ戦に向け、監督インタビューを行いました。今回は、インタビューを主務の栗(新二年)にお願いしました。是非ご覧くださいませ。

1、オープン戦もまもなく始まり、リーグ戦まで1ヶ月あまりとなっておりますが、現在特に重点を置いているのはどういった点ですか？

現在のチームは発足当初からチーム全体で危機感を共有しています。主将でエースで4番だった選手や内外野の要だった選手が抜けて、それをいかに埋めるかという課題は全員に共通するものです。

このチームの勝つパターンとしては接戦以外にはないと考えています。

勝つために必要なものの中で、現在特に重点を置いているのは投手陣の強化、内外野の連携、走塁、の3点です。

新チーム結成後1月までは体力強化をベースとした基礎練習を中心に行いながら全体的なスキルアップを目指してきました。2月からは応用編として試合で起こりうるケースを出来るだけ網羅し実戦に備えています。

一点を守りきる守備力、一点をもぎ取る攻撃力の構築を目指します。

2、前チームと比較して、現チームの方が優れている点や、3部の他大学と比較して武器として戦える点はどういった点ですか？

打撃力と走塁での状況判断力は前チームを上回れる可能性があると感じています。

投手陣に関しては実績のある者がおらずこれオープン戦など実戦を通じてリーグ戦までに整えたいと考えています。ただ、冬場トレーニングを重ねたことで右投手、左投手ともにある程度リーグ戦でも戦えるという感触を持っております。

3、年末の広商合宿を通してこのチームはどのように成長しましたか？

今年の広商の練習量は例年と比べても内容が濃く、我々は1週間の参加ではありませんでしたが、1週間体を追い込むことができたのは大変良かったです。冬の練習の基礎づくりとしても大変ありがたかったです。

特に投手陣の練習量は野手と比較してもさらに多く、下半身や体幹の強化につながったと感じています。

また、私自身も広商のOBの方との対話を通して、広商の伝統でもある接戦に勝つための工夫や接戦に強いチーム作りを改めて学ぶことができました。

春のリーグ戦の采配に生かしたいと思っています。

4、秋の3部最下位という結果から、順位を1つでもあげ、三部優勝という目標を達成するには今後どういったことが必要となりますか？

秋のリーグ戦の10連敗の反省として、春のシーズンを4位で終え、国公立戦で優勝したことでチーム力がある意味過信してしまったと考えています。その結果、秋のリーグ戦は最初から受け身な戦い方をしてしまいました。

春のリーグ戦ではそれを踏まえ挑戦者として戦うということを考えています。

5、これまで試合経験の少ない選手にも新たにチャンスがあると思いますが、そういった選手にはどのような姿勢を求めますか？

3部の他大学と比較して一橋は部員数がかなり少ないです。なので、他大学よりも一人ひとりに与えられるチャンスは多いです。

そのチャンスを各選手が掴み取りチーム内でより高いレベルの競争が生まれることを期待します。

また、今までのリーグ戦の采配を通じて学んだことですが、練習で目立つ選手と公式戦で活躍できる選手は必ずしも一致しないということです。

やはり日々の生活態度を含め、練習態度をよく見ながら選手起用に生かしていきたいです。

6、1月末に東都の他大学の監督とお話をされる機会があったと思いますが、監督自身その席でどのような刺激を受けられましたか？

他の東都の大学の監督はそれぞれ必死に取り組んでいらっしゃいます。

1部の監督さんのお話をお聞きすると2部はもちろんのこと3部の大学との差もわずかなものであると言っておられました。

3部からみると1部はある意味雲の上の存在に思えますが、一橋大学も戦い方によっては順位を上げることが可能だと改めて感じました。

7、最後に春のリーグに向け意気込みを教えてくださいませんか？

先ほども言った通りチャレンジャーとして接戦をなんとしても勝つということを目指します。

投手力と守備力を合わせた防御力、バントを含めた打撃力と隙のない走塁を合わせた細かい攻撃力を試合で体现できるよう残りの期間の練習に取り組んでいきたいです。

(インタビュー・文責：粟)

3. OB便り(平成3年卒 菊池様より)

平成3年卒の菊池です。実は2年前に1度投稿させて頂いておりますが、前回とは違った切り口で投稿させて頂きます。お時間ある方はお付き合いください。

【学生時代の反省】

学生時代の野球の思い出に関しては、前回書かせていただきましたので、ちょっと違った観点で。自分で言うのもなんですが、せっかくいい大学？に入れて頂いたのに何て勿体無い事をしたのだろう、と社会人になってから猛反省しました。

大学1年。もう全く授業に出ておりませんでした。午前中はスポーツクラブでアルバイト。午後は野球、終わったら麻雀。基本パターンはこんな感じでした。結果、語学全滅、スポーツクラブのアルバイトは1年間でやめざるを得なくなりました。当時聖蹟桜ヶ丘駅にNASスポーツクラブが出来ました。オープニングスタッフ募集につられ、マシンのインストラクターに応募、最終選考では日体大のバスケット部の学生に勝利して採用決定！密かな自慢です(笑)。確かに私は結構可愛い顔をしていましたので、NASの隣にあった京王百貨店(今もあるのかどうか?)のデパートガール達から人気が出てしまったことは否定しませんが、このバイトの真の狙いは、筋トレを真面目にやりたかったからです(野球部には筋トレルームがなく、陸上部にお借りしている状態でした)。当時のNASでは、バイト時間中でも空いているときはマシン使っていていいよ、という契約でした。おかげでベンチプレスはフルプレスで95キロまで上がるようになりました。

大学2年。留年の危機。午前中に語学を中心に講義を集中し、特に英語、中国語は真面目に出ました。アルバイトは、大学野球部の2つ上の先輩から引き継いだご家庭の家庭教師を週二回というものに切り替えました。何とか正式に3年生になれました。

大学3年、4年次はゼミを中心に今の学生さんたちとあまり変わらないかもしれません（でも絶対に今の学生さんの方が勉強していますよね）。

さて、反省は、学生時代に折角いい先生に囲まれ、恵まれていたのに、本当に勿体ないことをしたなあ、という事です。私は東京海上日動火災保険株式会社という損害保険会社に入社しましたが、損害保険会社に入社しますと、入社2年目には、損害保険講座という業界共通の講義とテストを1年間受講することになります（ここでは同業他社の方々とも交流があります）。この損保講座で使われるテキストに選ばれる書籍が、まさに当大学の先生のものであったりするわけです。同期から一橋の奴は楽勝だな、とか言われるわけですが、私の場合は、、、ここで一応猛勉強しました。きちんと授業を受けていた人はきっと楽勝でしたね。この損保講座にも留年があり、入社3年目に再受講する社員もそこそこいるのですが、私は独身寮に入っていたこともあり、教えてくれる人がたくさんいましたので、本当に助かりました。

また、異動で持株会社（東京海上ホールディングス）勤務になった際、私は人事部所属でしたが総務部（株主総会担当）も兼務することになりました。なんとその時、社外取締役を伊藤邦雄先生にお願いすることになったわけです。当社の役員の方々からは、「お前一橋だろ。伊藤邦雄先生の講義は受けていたのか？」「商学部ですから勿論です」なんて会話を交わしているものの、実際に伊藤先生とご一緒してお話してみても先生が私の事を覚えてはるはずもなく（授業に殆ど出ていないから当然です）、、、その後はやっぱり菊池は野球採用か？なんて当社の役員の方々からかわれる羽目になりました。

からかわれるのはある意味有難いのですが、学生時代を振り返ってみて、とっても反省している訳です。今、大学生をやり直したとしても野球を中心に取り組む事は何ら変わらないと思いますが、かと言って1日中野球をしているわけではなく、まして麻雀を1日中しているなんてことはないのです、いい先生（本当にいい先生ばかりですが）の授業は真面目に聞いておくべきだったな、というのが大きな反省です（今や学生時代の同期が一橋の教授になっていたりしますね）。国立大学といえども今の授業料は私たちの頃の倍以上ですから尚更ですね。

【現在の野球生活】

2年前も会社の野球部について少し書かせていただきましたが、もう少し掘り下げて書きたいと思います。先月、広島商業野球部の関東地区のOB総会に初めて参加させていただきました。私は初めての参加でしたが、金光さんに覚えて頂いていたものですから、直近の練習でもモチベーションが上がっています（単純です）。

実は、会社の野球部にも広島商業野球部出身の先輩がおりますので（その方は立教の野球部出身です）、私は皆様よりも更に広島商業野球部に対しては親近感を持っています。

私たちの野球部（会社の野球部のOBチーム）の目指すところは日本スポーツマスターズ（野球は40歳以上）の全国大会出場です。毎週土日、練習は朝6時～9時で実施しています。私は横浜在住、練習グラウンドは三鷹。電車では始発に乗っても間に合いませんので、交通手段は車です。仕事柄、金曜日は宴席が多く、飲んで遅くなることが多いので、飲酒運転を避けるためには殆ど土曜日の練習には行けず、自主トレになってしまっています。日曜日はゴルフに行くような時間に早起きして張り切って練習に行っています。

試合は、東京都千代田区の連盟に所属しておりますので、千代田区所有の野球場か、もしくは連盟指定の球場となります。千代田区所有の野球場の場所は花小金井。数年前に人工芝に変わりましたので、おじさんの足腰には相当堪えます。

この年齢になりますと、土日だけの練習では衰えるばかりです。酒を飲まないで帰宅した日は、自重トレですけど簡単な筋トレ、素振りを行い、年齢と闘っています。野球理論の研究も楽しいです。最近のマイブームは、トクサンTVです。多分ご覧になっている学生さんもおられるかと思います。トクサンは創価大野球部のキャプテンだった人で、人柄も素晴らしいですね。

都大会に出場しますと、結果だけですがスポニチに掲載されます。今まで、都大会の決勝までは行ったことがあります。残念ながら全国大会には行けていません。年齢を重ねるごとにどんどん厳しくなりますが、諦めずに頑張りたいと思っています。

以上乱文大変失礼致しました。前回よりも相当くだけた内容になってしまいましたが、最後までお読み頂き、有難うございました。こんな変わったOBがいて、未だに自らの野球人生に整理がついておらず、もがき楽しんでいるんだなあということで、心のどこかで応援してくださいと嬉しいです。

最後になりますが、学生の皆さん、悔いのないようにしっかりエンジョイベースボールしてくださいね（当社の野球部は慶応野球部出身者が多いのですが、彼らはこのエンジョイは単に楽しいサークルみたいなものではないと力説しています。皆さんはお分かりかと思いますが）！！そして出られる授業は出ましょう。本当に勿体ないですよ。

（平成3年卒 菊池優徳）

4. 春季オープン戦・リーグ戦日程紹介

春季オープン戦・リーグ戦の日程が決定いたしましたので、ご紹介いたします。
是非、グラウンドにてお待ちしておりますので、ご声援の程よろしく願いいたします。

【1】 春季オープン戦

- 3/1(木) 12:00～ vs 駿河台大学 @駿河台G
- 3/5(月) 13:00～ vs 立教大学 @立教G
- 3/7(水) 14:00～ vs 東京経済大学 @東経G
- 3/10(土) 10:30～ vs 法政大学 @法政G
- 3/11(日) 13:00～ vs ゴールドジム @一橋G
- 3/16(金) 13:00～ vs 横浜国立大学 @一橋G
- 3/20(火) 14:00～ vs 拓殖大学 @一橋G
- 3/22(木) 13:00～ 慶應大学 @一橋G
- 3/25(日)10:30～ 早稲田大学 @一橋G
- 3/29(木)13:00～ 明治大学 @一橋G
- 4/1(日) 10:30～ 東京学芸大学 @一橋G

【2】 春季リーグ戦(開始時刻未定)

- 第1週 4/7(土),8(日) vs 順天堂大学 @一橋G
- 第2週 4/14(土),15(日) vs 大正大学 @一橋G
- 第3週 4/28(土),29(日) vs 学習院大学 @一橋G
- 第4週 5/5(土),5(日) vs 成蹊大学 @一橋G
- 第5週 5/19(土),20(日) vs 上智大学 @一橋G

開始時刻等、詳細は3/5の正式発表までに決定する予定です。

詳しくは東都大学野球連盟HPもしくは一橋大学硬式野球部HPをご覧くださいませ。

最後までお読みいただきまして有難うございました。

今後とも野球部への温かいご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。

一橋大学硬式野球部

二年マネージャー渡辺佳奈

一橋大学硬式野球部公式ホームページはこちら↓

<http://jfn.josuikai.net/circles/sports/hit-u-bbc/>

OB・OG様専用ページパスワード：**hitbbc-obog**

↓ご意見・ご要望・配信停止等のご連絡等はこちらまで↓

hit.u.bbc.mg@gmail.com